

自衛隊神奈川地方協力本部

本部長感謝状贈呈



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は10月6日（水）、自衛隊横浜上大岡募集相談員・大場吉彦氏の本部長感謝状贈呈式に参加した。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として個別に大場氏の職場で行われた。



神奈川地方協力本部長（夏井 隆一海佐）から感謝状が贈られた大場氏は「光栄です。今後も協力していきたい」と嬉しそうに語り、社員から拍手が湧いた。大場氏は平成27年から自衛隊横浜上大岡募集相談員として隊員募集の重要性を認識され、募集広報業務等に対し日頃から格別のご支援を賜っている。特に自衛官募集ポスターの掲示場所や相談員の新規入会者をご紹介いただくとともに地域に密着した募集活動を通じて志願者獲得にご尽力を頂く等、業務遂行に多大な貢献をされた。上大岡募集案内所では、「今後も協力者の方々にご協力いただけるながら、募集に力を入れたい。」としている。

陸自希望者が座間駐屯地を見学



自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 内山2空尉）は、令和3年10月20日（水）、陸上自衛官を志す学生達へPRを兼ねて陸上自衛隊座間駐屯地の見学を実施した。当日は、見事な秋晴れとなり見学日和となった。座間駐屯地は、陸上自衛隊で唯一の在日米陸軍キャンプ内に所在する駐屯地で、学生達は移動中の車内から「英語が話せませんが、大丈夫ですか」等、不安な様子を見せながらも見学を楽しみにしていた。駐屯地に到着すると、初めて見る体の大きな米陸軍人に圧倒されていた。昼食は米軍のフードコートにおいてピザやハンバーガーを注文し、大きさや量に驚きながらも日本にいないからのアメリカ気分を存分に堪能していた。昼食後は、第4施設群で駐屯地の概要説明を受け、駐屯地の歴史等について興味深く聞き入り、見学者からは「米軍はどのような部隊が入っていますか」「災害派遣で苦労したことは何ですか」等の活発な質問が飛び、駐屯地についての理解を深めていた。その後地雷原処理車、機動支援橋等の装備品見学をし、広報官も含め皆、興奮し見入っていた。市ヶ尾募集案内所は「今後もあらゆる機会を活用しながら、自衛隊への理解促進に努めていく」としている。



夏井本部長、横浜市立大学で講義



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は10月20日（水）、自衛隊神奈川地方協力本部長（夏井隆一海佐）が横浜市立大学で行った瀬田真准教授が担当するグローバル人材論の講義を支援した。



講義には中條祐介副学長と瀬田真准教授の他学生22名が参加し、夏井本部長の留学経験をもとにグローバルな視点での自衛隊についての説明を熱心に聞き入り、頷いたりメモをする姿が見られた。質疑応答の時間も設けられ、現場視点での意見を聞ける機会とあって学生からは国際的な観点での自衛隊についてや自衛隊の課題等についての非常に鋭い質問が多く出た。

学生は「面白い講義だった。自衛隊にも興味を持った」と語り、夏井本部長も学生から刺激を受け有意義な講義になったようだった。上大岡募集案内所では「今後も学校との連携を深め、多くの学生・生徒や教職員に自衛隊の魅力を伝えていきたい」としている。